

120周年式典・祝賀会開催決まる

■120周年式典・祝賀会を開催..... 1	■母校便り..... 4	■予算・決算報告書..... 7	■国産グリン賞..... 11
■会長ご挨拶..... 2	■クラブ便り..... 5	■金蘭会ホールご案内..... 8	■学年会だより..... 11
■校長ご挨拶..... 2	■会務報告書..... 6	■組内便り..... 9	■支部この1年..... 14
■母校国際交流事業..... 3	■年会費納入・協賛金のお返り..... 6	■各委員会 (PT、租税、行事、名簿)..... 10	■会員からのお便り..... 16

来年10月

金蘭会百二十周年式典・祝賀会を開催

☆ 母校への記念品は、金蘭会館のエレベーター
 ☆ 記念誌・名簿発行、記念クルーズも決定

平成十三年に百十周年を迎えてから、早や十年。金蘭会がその長い歴史にまた一つの節目を迎えることになりました。

記念事業の主な内容

- ① 式典・祝賀会の開催、物故者慰霊
- ② 記念誌・会員名簿の発行
- ③ 学校への記念品贈呈 (エレベーター)
- ④ 特別事業協賛金 (二〇五、〇〇〇円) の依頼
- ⑤ 百二十周年記念クルーズ



①は、リーガロイヤルホテル (大阪) 平成二十三年 (来年) 十月十六日 (日) 会費 八、〇〇〇円 (平成卒の会費納入済会員は五、〇〇〇円) (ご予定ください)

③については経緯を以下に説明します。

⑤は同封の「ご案内」をご覧ください。

金蘭会館へのエレベーター設置

昨年六月、母校の原田校長先生から、「授業時、金蘭会館三階のLAN教室への昇降が困難な生徒が入学したので、金蘭会館にエレベーターを設置してもらえないか」との要請がありました。

金蘭会館へのエレベーター設置は、金蘭会でも過去に検討した経緯があり、できれば設置したいとの意向をもっていました。しかし、費用が相当かかること、建築基準法上設置が認められないことなどから、見

送りとなってしまいました。

ところが今年も同様の生徒がさらに一名入学したことから、再度、設置の可能性について種々検討した結果、三人乗り程度の簡易なエレベーターを室内に設置するのであれば、法的に問題なく、費用の点でも、会員の皆様に呼びかけて協賛いただければ可能なのではないかという結論になりました。そこで、理事会・評議員会に諮り、百二十周年記念の母校支援事業として実施することになりました。

工事は今年の夏休み中に行い、九月からは利用できるようになる予定です。協賛金は百二十周年記念事業全体に対する協賛ということで、二〇五、〇〇〇円、振込用紙は会費(二、〇〇〇円)、賛助金(二〇二、〇〇〇円)と同じ用紙です。皆様のご協力を心からお待ちいたしております。よろしくお願ひ申し上げます。

会長ご挨拶



会長 安橋 興二郎
(S34卒)

早いもので、会長就任のご挨拶を申し上げてから、すでに一年が経過しました。この間、「会員相互の親睦・向上と母校支援」「楽しい雰囲気づくり」「長幼の序の尊重」の三点を基本にすえた活動も、会員の皆様のご理解とご協力のもとで、実りあるも

のになつたとうれしく思っております。ご尽力くださいました関係者の皆様に厚くお礼申しあげます。

金蘭会セミナーの開催、パソコンスクールの運営、母校が開催した高校生国際科学会議への支援、財団法人国際児童文学館への支援による第12回国際グリム賞の贈呈などは、事業計画どおり、円滑に進めることができました。

また、会員の皆様への情報伝達手段として、この「大手前だより」に加えて、ホームページの「WEB金蘭会」があります。その充実を図ることができました。新たに、理事会や評議員会の議事録もそこに掲載しておりますので、ぜひご覧いただきたいと存

じます。なお、その議事録にもありますとおり、金蘭会の会則も十五年ぶりに改正し、実体に合わないところ、用語等の不適切なところなどを修正いたしました。

さて、明治24年に創立された金蘭会は、来年、百二十周年を迎えます。その記念事業についても検討し、一面に記載のとおり、の事業を実施することに決めております。その中で、特に「百二十周年記念クルーズ」と「金蘭会館へのエレベーターの設置」についてお願い申し上げます。

百二十周年記念クルーズは、過去一回、オレンジツアーとして好評いただいたものをさらに充実させて実施しようというものであります。学年を越えた会員相互間の交

流が図られ、金蘭会がさらに強い絆で結ばれるようになることが期待されます。皆様お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

金蘭会館へのエレベーターの設置は、金蘭会の永年の悲願でした。さらに母校から、三階の生徒用LAN教室への昇降を容易にするために設置の要請もありましたので、百二十周年記念の母校支援事業として設置することになりました。その資金について、趣旨をご理解のうえ、ぜひご協賛くださいますようお願い申し上げます。

本年も、会員の皆様のご健勝と母校のますますのご発展、金蘭会の隆盛を心から願っております。

校長ご挨拶



校長 田原 哲次

金蘭会会員の皆様には、日頃から母校の学校教育の推進に多大のご支援を賜り心から感謝申し上げます。昨年度は、英国ウェールズへの生徒派遣に加え、今年三月の中華人民共和国・大韓民国・タイ王国から高校生を招いて開催いたしました高校生

国際科学会議にご支援を頂き、重ねて感謝申し上げます。会議では本校生徒が司会・進行し、全て英語での発表・質疑応答という形式で行いました。お陰をもちまして、大きな学習成果と感動を生徒に与える事ができました。当日の様子は、NHKニュースでも放映されました。

この会議を終えホッと息つく間もなく四月一日には、新入生三六〇名を迎えました。今年度の入学生は、中学卒業生数が多いためほとんどの府立高校で一学級増となりました。本校は、平成五年に理数科が設置され十七年が経過しましたが、来年度の一年生から理系の専門小学校と文系の専門小学校を合わせた「文理学科」として、

前期入学者選抜で大阪府内全域を対象に四クラスを募集します。後期の普通科はこれまで通り決められた通学区域内から募集します。この方式で進学実績のある府立高校十校が同時に府内全域から生徒を募集することになりますので、本校独自の特色を鮮明にし、中学生が魅力を感じてくれる学校づくりをしなければなりません。現在、本校では全教職員をあげて、来年度からのカリキュラムや学校組織、学校行事などの検討を行っています。本校の伝統と時代の要請に対応して組み立ててきました学習システムを維持・発展させながら、一つは、スーパーサイエンス事業を活用した取り組み、もう一つは、日本に迫いつけ

追い越せとエネルギー溢れるアジア各国の優れた高校生との交流を重要な柱と考えています。これらの取り組みは、「何のために学ぶのか」の答えを見つけ出す一つのきっかけになるものと考えています。

私は、本校の生徒達には、世界の中の日本の危機的な現状をしっかりと把握し、将来を見据え、高い志を持つて欲しいと思っております。これは大手前高校生の使命であると考え、日々の教育に努めております。

最後になりましたが、安橋興二郎会長のもと、金蘭会の益々のご発展を心から祈念しご挨拶とさせていただきます。

母校国際交流事業

金蘭会からのご支援ありがとうございました

高校生国際科学会議

二〇二〇年三月二十五日、ドーンセンター大ホールにおいて、「高校生国際科学会議」が開かれました。会議の前日、二十四日に中国から北京二〇中学校、上海外国語大学附属外国語学校、タイからチエラロンコン大学附属高校、韓国からは漢城科学高校より、生徒各二名、付き添い教員各名、計十二名を、本校教員が関空に出迎えました。まずは本校の作法室で茶道部によって日本の茶道を体験、英語での説明も受けました。翌日の会議の打ち合わせ後、夕方にはホス

トファミリィになつていただいた本校生のご家族の迎えて、それぞれの家に向かいました。二十五日午前は、本校理数科の「サイエンス探究中間発表会」があり、大ホールでの発表とポスターセッションで、これまでの研究成果が報告されました。午後は「高校生国際科学会議」が金蘭会会長安橋興二郎氏をはじめ、多くの来賓を迎えて行われました。この会議は司会・挨拶・発表・質疑応答など、すべてが英語で行われました。環境問題をテーマに海外からの四校と本校の五グループが、地元の河川において水質の分析などを行い、その成果を発表し、まとめとして「国際共同宣言」を出しました。本校の発表グループには、昨年九月より本校に留学中の中国人生徒もおり、国境を越えて環境問題を考えた会議となりました。最後に発表者全員で「よきこいソーラン」



をとともに踊り、なごやかな雰囲気の中で閉会となりました。この模様は、その夜のNHKニュースでも紹介されました。

翌日は、滋賀の琵琶湖博物館と京都の清水寺へ研修ツアーが実施され、海外生徒、教員と本校の生徒、教員、計約四十名が参加しました。会議を通じてすっかり打ち解けた生徒たちは、この研修を心から楽しんでいました。夕方にはホテル「ハイアットリージェンシー大阪」で歓送会が行われ、ホストファミリィも一緒に、この三日間を振り返りながら、楽しいひとときを過ごしました。海外の生徒たちは、スピーチの中で、暖かくもてなしてくださったホストファミリィに感謝し、また、この会議の経験を「貴重なもの」と述べていました。

この会議は、本校生に大きな刺激を与え、また、自信となるものだったと思います。英国交流など、本校での様々な国際交流経験によって、本校生は海外の人々との接し方を自然に身につけてきたように感じました。

平成21年度英国国際交流

四回目の英国派遣が二〇〇九年七月六日(月)から七月十九日(日)にかけて実施されました。派遣の希望者は大変多く、その中から選考された一、二年生とも女子三名・男子一名の合計八名の生徒と、付き添いの教員二名が参加しました。

折しも、新型インフルエンザ騒動が世界的に起こり、五月には一週間の休校という事態にまで及びました。そんな中、果たしてウエルズへ行くことができるのかという不安もありましたが、

幸いなことに夏が近づく頃には騒動も収まり、無事機上の人となることができました。

アペリストゥスのベングライスカには現地時間の夜遅く午後十一時頃に到着しました。空港からウエルズまでのミニバスの中ですっかり眠っていた生徒たちは心の準備をする間もなくホストファミリィに迎えられ、ウエルズでの生活がはじまりました。

アペリストゥスの街は海に沿って開けており、ベングライスカは街の中心から少し離れた高台にあります。到着した翌日から、アペリストゥスの街やベングライスカの見学、授業への参加、学年集会や授業での日本文化の紹介(書道や折り紙、剣道、ソーラン節など)と、様々な活動を生徒たちは行いました。日本文化の紹介とくにソーラン節は大好評で、アペリストゥスの街の小学校でも行いました。また、ケレディギ

オン博物館・ハーレック城・デビルズブリッジ・国立図書館などの見学、カヤック体験や学校の遠足への参加などによりウエルズの文化を学び、交流を深めました。

派遣期間のちようど中間にあつた土日はホストファミリィとともに過ごし、生徒たちはウエルズでの生活を十分に味わったようです。

この派遣を通じて生徒たちは多くのことを学び、成長しました。帰国後は様々な場面で派遣の報告会を行い、他の国際交流行事でも中心となって関わっています。

今年度は七月六日(火)から十五日(木)まで、ベングライスカから生徒六名と引率教員二名が本校を訪問し、母校の生徒との交流を深める予定です。十四日(水)には、金蘭会主催の送別会を、金蘭会館で開催していただく予定です。



母校便り

◆本年度の人事異動(順不同)

〔退職された方〕

野口 俊一 先生 (理科)
志場 正成 技師

再任用として本校で勤務

〔転勤された方〕

戸田 徹 教頭先生

藤井 秀雄 先生 府立花園高校教頭へ
(数学科)

竹林 秀浩 先生 府立今宮高校へ
(理科)

池田 かおる 先生 府立榎風館高校へ
(英語科)

柳原 里実先生 (英語科) 府立旭高校へ

米田 隆先生 (英語科) 府立北かわち阜が丘高校へ

中井 貴美子 先生 府立桜塚高校教頭へ
(実助)

長野 英子 先生 府立門真なみはや高校へ
(実助)

西浦 壽美子 主査 (事務) 府立桃谷高校(定)へ

山崎 弘志 技師 府立登美丘高校へ

〔兼任された方〕

山元 剛 教頭先生

奥村 満磨 先生 府立守口東高校より
(数学科)

富山 祐美 先生 府立芦間高校より
(数学科)

今西 さやか 先生 (理科) 新任

鶴元 進一 先生 府立四條畷北高校より
(英語科)

上田 宏枝 先生 府立四條畷北高校より
(英語科)

高崎 綾子 先生 府立交野高校より
(英語科)

金井 ゆき 先生 (実助) 新任

山口 世津子 先生 府立桃谷高校(通)より
(実助)

藤本 和宏 主査 (事務) 府立勝山高校より

田中 和男 技師 高齡介護室より

府立清友高校より
(講師は含まれていません)

第十五回金蘭会母校支援文化行事

平成二十一年度は例年金蘭会よりご支援いただいた文化行事、集中セミナーに加え、SH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の一環としての高校生国際科学会議(別記事あり)にもご支援をいただき、どの行事も生徒たちにとって素晴らしい経験となりました。以下は文化行事として、平成二十一年十月十九日、ザ・シンフォニーホールにおいて大阪シンフォニー交響楽団の演奏を鑑賞した生徒の感想です。

オーケストラの生の演奏を聴きに行くことはあまりなかったのですが、どの曲も一度は聴いたことのあるものばかりだったので、親しみをもって聴くことができました。「ピチカート・波尔カ」はとても小さな、他に比べても低い音のようで、それでいて決して弱さを感じさせない、とても不思議な印象を持ちました。それに、弦は弓で弾くものだという先入観があったので、弓で弾かない演奏を目の前で初めて見てとても新鮮で感動しましたし、演奏というものの見方が少し変わりました。

最後の交響曲第九番「新世界より」第四楽章は九曲の中で一番印象的で、とても壮大であり、同じ曲なのにCDで聴いたときよりも生で聴いたときのほうがなぜか「新世界」という題名に合っているようで、納得できました。本当にそう思えるくらい演奏がよくて、最後にこの曲を聴けて本当に良かったと感じました。(二年女子)

演奏を聴く前は、プログラムの最後に載っている「大手前高校校歌」の文字に違和感を覚え

つつも、いざ会場に着くと、その規模の大きさに圧倒されました。自分たちのクラスは演奏席に最も近く、指揮者の方の顔もよく見ることができたのがとても新鮮でした。曲目も馴染みのあるものが多かったもので、とても聴き入りやすく、「新世界より」や「ア・ラ・ホーンパイプ」など全く気色の違う曲調のものを聴くことができました。最初は敬遠気味だった校歌も演奏の中の合唱などなかなか出来ないことを経験することができたのは貴重でした。(三年男子)

- (演奏プログラム)
- 1 ロッシーニ 歌劇「ウィリアム・テル」序曲
 - 2 パッヘルベル 「カノン」
 - 3 プラームス 「ハンガリー舞曲」第一番、第五番
 - 4 ベートーベン 交響曲第六番「田園」より第一楽章
(休憩10分)
 - 5 グリンカ 歌劇「ルスランとリムドミラ」序曲
 - 6 ヘンデル 「水上の音楽」より「アラ・ホーンパイプ」
 - 7 J・シュトラウス 「ピチカート・波尔カ」
 - 8 エルガー 「愛の挨拶」
 - 9 ドヴォルザーク
 - 10 交響楽第九番「新世界より」より第四楽章
大手前高校校歌

◆平成22年度主な大学合格状況

京都大学	34名
大阪大学	40名
神戸大学	34名
大阪市立大学	12名
大阪府立大学	23名
大阪教育大学	12名
関西学院大学	56名
関西大学	105名
同志社大学	96名
立命館大学	81名
早稲田大学	1名
慶應義塾大学	4名

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

- 平成二十二年二月二十六日 福島 有光 先生
- 平成二十二年五月 山本 喜美 先生
- 平成二十二年十二月二十三日 長谷川清一 先生
- 平成二十二年三月 竹内美知子 先生
- 平成二十二年三月三十日 鈴木 朗夫 先生

体験入学について

6月26日(土)に中学3年生対象の体験入学が行われました。10月23日(土)・12月11日(土)には中学3年生を対象に、また、2月5日(土)には中学1・2年生及び小学生を対象に学校説明会を開催します。



クラブ便り

文化系

- ESS部
近畿高等学校英語スピーチコンテスト出場、暗唱の部第5位。
平成20年度第48回大阪高校英語暗唱弁論大会出場、暗唱の部第5位。
平成20年度梅花女子大学主催第55回高等学校英語弁論大会出場。
平成21年度梅花女子大学主催第56回高等学校英語弁論大会出場。
- 文芸部
例年、春の文化系クラブ発表会、秋の文化祭に合わせて部誌「傾いた天井」を発行し、作品を発表。通常は週1〜2回さまざまなゲームを取り入れて活動。
- 美術部
校内では文化系クラブ発表会・文化祭で発表。
校外では第61回大阪府高等学校美術工芸展に出品、絵画の部にて奨励賞を受賞。
第2学区大阪北ブロック高等学校美術・工芸展に出品。
- 軽音楽部
校内ライブを4月、5月、あと文化祭ライブを9月に行います。
スノーカーエイジには毎年出場（グランプリ大会出場経験もあり）。
- 吹奏楽部
大阪府音楽会、第3ブロック音楽会、大阪府アンサンブルコンテストSAX3重奏銀賞。
吹奏楽コンクール北地区大会銀賞。
四天王寺ワッソ百済隊参加。
校内の学校行事において、文化祭・文化系クラブ発表会・体育大会・卒業式などで演奏
第7回定期演奏会「フェリーチェ・コンサート」（H22.4.2）旭区民ホール。
- 茶道部
平成21年7月第30回全国高等学校総合芸術文化祭三重大会茶道部門および
平成21年11月第29回近畿高等学校総合芸術文化祭・京都大会茶道部門にいずれも大阪府代表として参加。
平成22年1月大阪府高等学校総合芸術文化連盟開会行事に参加。
文化祭・国際交流行事他、校内にて年に数回のお茶会開催。
中国交流生歓迎・SSH国際科学会議交流生歓迎茶会参加。
- 演劇部
平成20年度大阪府A地区演劇研究大会出場、個人演技賞受賞。
平成21年度大阪府A地区演劇研究大会出場、個人演技賞2名受賞。
- 生物部
長期にわたってウーパールーパー（メキシコサンショウウオ）の飼育を継続。
文化系クラブ発表会や文化祭では生き物や標本を展示。
- 理化学研究部
平成20年度のSSHの指定を受け、研究体制の強化を図っている。
指定2年目となる平成21年度は大阪府学生科学賞に出場。
大阪府サイエンスフェスティバル、千里ライフサイエンスセミナーで発表するなど、活動の場を広げた。
- 書道部
平成20年度日本書写教育研究会主催書きぞめ展大阪府PTA会賞受賞。
平成21年度日本書写教育研究会主催華展日本郵政株式会社社長賞受賞。
平成21年度日本書写教育研究会主催書きぞめ展日本書写教育研究会賞受賞。
平成22年度インド交流・英国交流での書道を通じた国際交流実施。
- 漫画研究部
校内行事である文化系クラブ発表会と文化祭に合わせて年2回部誌を発行。
文化祭ではオフセット印刷による部誌も別途発行。
- 数学研究部
平成20年 日本数学コンクールにて部員1名が優秀賞を受賞。
平成21年 国際数学オリンピックにて部員1名が国内1次予選通過。東京での表彰と強化合宿に招待された。
- 園芸同好会
季節の花や野菜を中庭に植えています。今年は、日よけも兼ねて保健室の窓のそばにゴーヤを植えます。夏には立派なグリーンカーテンができています。はずです。
- 放送委員会
自治会行事（新入生オリエンテーションの部活動紹介、コーラス大会、体育大会など）で案内放送を行ったり、司会を務めたりしている。
- 図書委員会
1年に4回、Library Times（図書委員会通信）を発行。コギト（図書情報）に「図書委員の推薦図書」を掲載。昼休み・放課後の図書貸出・返却などカウンター業務、蔵書整理等。読書推進運動の一環として21年度文化祭では手作りのしおり・ブッククリップ・ブックチャーム・カードスタンド・古本を販売し、売上金を寄付。
- 映画研究同好会
平成20年度から発足した同好会。
- 鉄道研究同好会
平成20年度から発足した同好会。文化系クラブ発表会・文化祭にて展示、文化祭で会誌発行。
- クイズ同好会
平成20年度から発足した同好会。

運動系

- 水泳部
高校対抗 女子50mフリー3位 入賞5名
新人大会 女子50mフリー2位
- 登山部
夏合宿は白馬大雪山〜白馬岳〜蓮華温泉。その他、2ヶ月に1度程度、近畿の山に登る。

- 硬式野球部
平成21年度 全国高校野球選手権大阪大会 3回戦進出
秋季近畿地区高校野球大会大阪予選 初戦敗退
平成22年度 秋季近畿地区高校野球大会大阪予選 3回戦進出
- 陸上競技部
平成21年度大阪高校選手権地区大会予選会 8種競技第1位、男子200m第6位、女子400mH第5位、大阪インターハイ 8種競技第4位入賞
平成21年度大阪高校総体1・2年地区予選会 2年男子三段跳2位、2年女子100mH3位
400mH4位 4×100mR4位 1年男子1500m6位 110mH6位
1年女子3000m5位
平成21年度大阪高校地区別秋季大会女子総合4位 2地区駅伝大会女子総合3位
- ソフトテニス部
平成21年度
大阪高校春季大会個人中央大会出場（男子）
大阪高校総体個人中央大会出場（男子）団体予選2位、中央大会出場（女子）
大阪公立高校ソフトテニス大会（夏・冬）個人中央大会出場（男子・女子）
新人大会個人中央大会出場（男子）
平成22年度
大阪高校春季大会個人中央大会出場（男子）
- 硬式テニス部
平成21年度
女子
大阪高校春季テニス大会（団体、S）本戦出場
大阪公立高校テニス大会（S）本戦出場
学区テニストーナメント秋季（団体）3位
男子
スプリングテニストーナメント本戦出場
サマーテニストーナメント本戦出場
大阪高校総体テニス大会（S、W）本戦出場
学区テニストーナメント夏季（W）本戦3位
学区テニストーナメント秋季（S）本戦出場（団体）準優勝
- 柔道部
インターハイ大阪府予選出場、近畿大会大阪府予選兼新人大会出場
大阪高校総体出場
- サッカー部
春季大会（4月）3回戦進出。大阪高校総体（9月）、新人サッカー大会（1月）初戦敗退
大阪U-18サッカーリーグ（3部大阪府ブロック）出場
中河内サッカーリーグ下位リーグ優勝・上位リーグ昇格
- 卓球部
平成21年度大阪高校卓球選手権大会出場、大阪高校新人卓球大会出場、大阪高校総体出場
- 男子バレーボール部
平成21年度 総合体育大会東地区ベスト8、大阪府立大会ベスト8、新人大会部別2部リーグ優勝
平成22年度 春季大会部別1部リーグ2位
- 女子バレーボール部
平成21年度 大阪高校総体予選出場、春季大会部別1部リーグ2位、新人大会部別1部リーグ4位
平成22年度 春季大会部別2部リーグ3位、大阪高校総体予選出場
- 男子バスケットボール部
平成21年度インターハイ予選1回戦敗退
全国高校バスケットボール大阪府予選、大阪総体新人戦1回戦敗退
大阪高校総体2回戦敗退、西地区府立高校大会第3位
- 女子バスケットボール部
平成21年度インターハイ予選 2回戦進出、大阪高校総体 1回戦敗退、
大阪高校新人戦 2回戦進出、西地区府立高校大会 10位
平成22年度インターハイ予選 2回戦進出
- ラグビー部
年間約20試合。夏期合宿（4泊5日）実施。
新人戦（10人制）2勝1敗。
春季大会（10人制）2勝1敗
- 剣道部
大阪府立高校第二回剣道錬成大会 平成22年4月
団体の部 男子ベスト8 女子第3位
個人の部 男子準優勝 女子優勝 第3位（2名）
第5回大阪府立高等学校剣道錬成大会 平成22年4月
女子団体の部 ベスト8
- ダンス部
平成21年11月大阪府高校保健体育研究会第50回創作ダンス発表会 優秀賞
平成22年1月近畿高校総合文化祭開会式に出演
2月校内ダンス部単独公演
- バドミントン部
今年度、同好会から部に昇格。第64回大阪府予選会に出場。
- 合気道部
20名程度で活動中。今年度より部に昇格。春日丘高校、北千里高校、北野高校、京都大学との合同練習に参加。昨年度、6名が昇段審査に合格。また、本校の国際交流行事にて合気道の紹介を行った。

会務報告書

平成二十一年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十一年四月二十五日(土)

於 金蘭会ホール

(出席六十五名・委任状八十七名 成立)

① 事業報告 決算報告 承認

② 事業計画 収支予算 承認

③ 理事・監事選出

(2) 理事会

第一回 平成二十二年四月二十五日(土)

第二回 平成二十二年五月二十三日(土)

第三回 平成二十二年七月 四日(土)

第四回 平成二十二年九月 十二日(土)

第五回 平成二十二年十一月 五日(土)

第六回 平成二十二年三月 六日(土)

第七回 平成二十二年四月 十七日(土)

「大手前だより」発行

平成二十一年七月

新入会員歓迎会

平成二十一年九月六日(日)

於 金蘭会ホール

(新入会員百四名・先生十名 出席)

- (5) 新年互礼会
平成二十二年一月二十三日(土)
於 金蘭会ホール
(来賓二名・会員六十名 出席)
- (6) ホームページ運営

二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 第十二回国際クリム賞の最終選考と贈呈

(4) 金蘭会セミナー開催

(5) パソコンスクール開催運営

金蘭会セミナー開催日

- 第二七回 平成二十二年四月 十七日(金)
- 第二八回 平成二十二年五月 十五日(金)
- 第二九回 平成二十二年六月 十九日(金)
- 第三〇回 平成二十二年七月 十七日(金)
- 第三一回 平成二十二年九月 十八日(金)
- 第三二回 平成二十二年十月 十六日(金)
- 第三三回 平成二十二年十一月 二十日(金)
- 第三四回 平成二十二年一月 十五日(金)
- 第三五回 平成二十二年二月 十九日(金)
- 第三六回 平成二十二年三月 十九日(金)

平成二十二年 事業計画

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十二年四月二十四日(土)

於 金蘭会ホール

「大手前だより」発行

平成二十二年七月

新入会員歓迎会

平成二十二年九月五日(日)

於 金蘭会ホール

平成二十三年一月十五日(土)

於 金蘭会ホール

ホームページ運営

二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 第十三回国際クリム賞予備選考

(4) 金蘭会セミナー開催

(5) パソコンスクール開催運営

(6) 金蘭会百二十年記念事業準備

(7) 金蘭会館エレベーター設置

三、理事会開催予定日

- 第一回 平成二十二年六月 五日(土)
- 第二回 平成二十二年七月 二十四日(土)
- 第三回 平成二十二年九月 十一日(土)
- 第四回 平成二十二年十月 二十七日(土)
- 第五回 平成二十三年一月 二十九日(土)
- 第六回 平成二十三年三月 五日(土)
- 第七回 平成二十三年四月 十六日(土)

四、金蘭会セミナー開催予定日

- 第三七回 平成二十二年四月 十六日(金)
- 第三八回 平成二十二年五月 二十一日(金)
- 第三九回 平成二十二年六月 十八日(金)
- 第四〇回 平成二十二年七月 十六日(金)
- 第四一回 平成二十二年九月 十七日(金)
- 第四二回 平成二十二年十月 十五日(金)
- 第四三回 平成二十二年十一月 十九日(金)
- 第四四回 平成二十三年一月 二十一日(金)
- 第四五回 平成二十三年二月 十八日(金)
- 第四六回 平成二十三年三月 二十五日(金)

金蘭会活動を支えるのは

皆様の年会費です

昨年も年会費¥20000(卒業後5年間
は免除)を納めていただいた2748名の皆
様の協力本当に有難うございました。

また、8年前より新たに賛助金(一口
¥2000)の呼びかけをさせていただいて
いますが、さらなるご負担にもかかわらず、
昨年も938口もの厚意を頂戴いたしま
した。本当に有難うございました。

お陰様で、昨年度も金蘭会活動を滞り
なく行うことができました。会員皆様の
協力に感謝しております。

母校の国際交流事業は、有意義な事業
として定着し、母校の魅力のひとつになっ
ております。今年も英国より受け入れる年
です。さらに、スーパーサイエンスハイ
スクールの指定校として、3カ国4校を
招き母校を含め5校で、「高校生国際
科学会議」を三月二十五日にド
ーンセンターで開催し、挨拶、
司会、発表から質疑応答、講評まで英語
のみで行われ、レベルの高さに驚か
されました。

決算書や予算書でお分かりのよう
に、金蘭会の活動を円滑に維持して行く
には、幅広い皆様の協力とご支持なし
には成り立ちません。

また、来年には金蘭会創立百二十年
を迎えます。記念事業として、会館内
にエレベーターを設置し、3階LAN教
室への車イス利用の生徒と2階ホ
ールへの会員の利便に供したいと思
っておりますので、さらなるお願
いで申し訳ございませんが、協賛金
もぜひともよろしくお願いしま
す。

今年度の年会費は平成17年まで
に卒業された方よりしくお願
いします。(平成18年〜平成22
年卒業の方は免除)

年会費(¥2000)、賛助金(一口
¥2000)、百二十年記念特別事業
協賛金(一口¥5000)は「大手前
だより」に同封の振込用紙を
ご利用下さい。

一人でも多くの皆様のご理解とご
協力をよろしくお願
い申し上げます。

(会計理事 S40卒 田原由夫)

振込はATMを

ご利用ください

金蘭会120周年 記念特別事業

金蘭会館に
エレベーターを!!

一口 5,000円の
「協賛金」の
ご協力をお願いします。



平成22年度予算

平成21年度決算報告書

一般会計

(1) 収入の部 単位(円)

科目	予算	備考
入会金	1,600,000	@5000×320名
賛助金	1,900,000	
会費	5,500,000	
名簿売上	55,000	
会館利用料・他	250,000	
財団法人金蘭会補助金	-	
寄付	-	
(小計)	(9,305,000)	
前期繰越剰余金	20,928,840	
合計	30,233,840	

(2) 支出の部 単位(円)

科目	予算	備考
[運営費]	[3,268,500]	
事務局費	2,718,500	明細の通り
会議費	200,000	理事会・評議員会他
慶弔費	350,000	卒業生への祝菓子他
[一般事業費]	[3,500,000]	
大手前だより発行費	2,500,000	
新入会員歓迎会	450,000	
IT関連費	550,000	
[特別事業費]	[2,260,000]	
母校への支援	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	400,000	
金蘭会セミナー補助金	300,000	(財)金蘭会と合計して100万円
国際ogram賞	500,000	
文庫資料補修	30,000	
会員名簿整備	30,000	
[予備費]	[300,000]	
(小計)	(9,328,500)	
次期繰越金	20,905,340	
合計	30,233,840	

(3) 事務局費明細 単位(円)

運営助手手当	700,000
交通費	5,000
事務用品費	350,000
通信費	250,000
印刷費	200,000
電話料	100,000
会館運営費	440,000
払込料	320,000
リース料	283,500
雑費	70,000
合計	2,718,500

付1 改築費使用予定 単位(円)

科目	金額
前期繰越金	857,080
プロジェクター(セミナー)とパソコン(事務局用)	220,000
3階男子トイレの1基をウォッシュレット化	126,000
文庫の物品棚(設置料込)	70,700
ベランダの物置(設置料込)	336,000
ベランダ出入口の改修	64,500
次期繰越金	39,880

付2 金蘭会創立110周年基金 単位(円)

前期繰越金	5,072,590
-------	-----------

付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金 単位(円)

前期繰越金	600,000
-------	---------

付4 オレンジツアー準備金 単位(円)

前期繰越金	478,728
-------	---------

一般会計 (平成22年 3月31日現在)

(1) 収入の部 単位(円)

科目	平成22年度	平成21年度	備考
入会金	1,625,000	1,620,000	@5000×324名
賛助金	1,800,000	1,876,000	
会費	5,500,000	5,496,000	@2000×2748名 参考4
名簿売上	100,000	244,100	残163冊 参考5
会館利用料・他	230,000	280,467	
財団法人金蘭会補助金	-	-	
寄付	-	5,700	
(小計)	(9,255,000)	(9,522,267)	
前期繰越剰余金	20,382,045	20,382,045	
合計	29,637,045	29,904,312	

(2) 支出の部 単位(円)

科目	平成22年度	平成21年度	備考
[運営費]	[3,338,500]	[3,106,623]	
事務局費	2,688,500	2,516,640	明細の通り
会議費	200,000	145,205	理事会・評議員会 参考2
慶弔費	450,000	444,778	卒業生の祝菓子・校長祝辞など
[一般事業費]	[3,420,000]	[2,855,160]	
大手前だより発行費	2,500,000	2,134,626	
新入会員歓迎会	450,000	382,316	参考3
IT関連費	470,000	338,218	
[特別事業費]	[3,060,000]	[2,875,089]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,200,000	1,200,000	
金蘭会セミナー補助金	300,000	151,909	参考1
国際ogram賞	500,000	500,000	(財)金蘭会と合計して100万円
文庫資料補修	30,000	19,240	
会員名簿整備	30,000	3,940	
[予備費]	[600,000]	[138,600]	空調修理
(小計)	(10,418,500)	(8,975,472)	
次期繰越金	19,218,545	20,928,840	
合計	29,637,045	29,904,312	

(3) 事務局費明細 単位(円)

運営助手手当	700,000	606,150
交通費	5,000	0
事務用品費	300,000	297,414
通信費	250,000	203,525
印刷費	250,000	269,451
電話料	100,000	88,771
会館運営費	440,000	434,879
払込料	300,000	273,130
リース料	283,500	283,500
雑費	60,000	59,820
合計	2,688,500	2,516,640

付1 改築費 単位(円)

前期繰越金	1,411,480
2階トイレの改築(予算514,500)	554,400
次期繰越金	857,080

付2 金蘭会創立110周年基金 単位(円)

前期繰越金	5,072,590
-------	-----------

付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金 単位(円)

前期繰越金	600,000
-------	---------

付4 オレンジツアー準備金 単位(円)

前期繰越金	478,728
-------	---------

参考4-1 平成21年度会費 参考4-2 前年会費

平成21年度会費	5,496,000	前年繰越金	684,000
上記の内、本年支出	-130,000	上記の内、本年支出	-214,000
前年の内、本年支出	+214,000	本年支出の内、前年	+150,000
平成21年度分	5,496,000	次期繰越金	630,000

参考1 セミナー収支報告 単位(円)

収入	金額	支出	金額
年会費	227,000	通信費	216,000
寄付	37,000	講演料	100,000
当日会費	976,500	食費	1,013,570
一般会計均	151,909	印刷・雑費	62,839
合計	1,392,409	合計	1,392,409

参考2 新年互礼会収支報告 単位(円)

収入	金額	支出	金額
会費	300,000	会食費	214,578
寄付	40,000	参加費・品類	113,476
一般会計均	31,123	案内状印刷	13,069
合計	371,123	合計	371,123

参考3 新入会員歓迎会収支報告 単位(円)

収入	金額	支出	金額
寄付	62,688	会食費	321,528
一般会計均	382,316	参加費・品類	109,058
合計	445,004	雑費	14,418
		合計	445,004

参考5 名簿売上収支(@5000) 単位(円)

収入	金額	支出	金額
個人申込金	363,000	贈与・送料	115,500
(仮借)		送金手数料	3,400
		一般会計へ	244,100
合計	363,000	合計	363,000

2 財産目録 (平成22年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
現金	25,663	金蘭会館改築基金	35,746,520
普通預金	1,650,931	同上改築費残高	857,080
(三井住友B/K天調備)	0	次年度以降会費預り分	620,000
郵便貯金	26,847,101	オレンジツアー準備金	478,728
(中之島郵便局)		金蘭会創立110周年基金	5,072,590
金蘭会館設備	23,971,530	金蘭会進学基金	600,000
同上什器備品	11,774,990	本払金	21,000
電話加入権	54,543	剰余金(期末繰越金)	20,928,840
合計	64,324,758	合計	64,324,758

平成22年3月31日

金蘭会 会計理事 田原 由夫
会計理事 平松 美樹

監査報告

このたび平成21年4月1日から平成22年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正にして正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成22年4月10日

金蘭会 監事 勝部 慶次
監事 貝井 昌博

ルご案内

運営委員会

金蘭会ホール使用要領

会セミナー 第14期報告

講 演	講 師	参加
ード2期開発への期待	篠崎 由紀子氏(S40卒) 株式会社都市生活研究所 代表取締役 社会法人関西経済同友会 常任幹事 大阪北ヤード委員会 委員長	94
「今日から芭蕉さん」 俳句、されど俳句～	池田 泰子氏(S29卒) NHK学園俳句講師 白桃俳句会同人	90
「所一大阪」の礎を築いた「淀屋」 -パート2-	蒲田 建三氏(S36卒) 淀屋研究会・副代表	101
「ウイスキー」 スコッチ、バーボンと日本のウイスキーの比較～	一宮 洋氏(S38卒) 元サントリー(株)勤務	78
「ムシ(クラミドモナス)で見る生命と性の進化	松田 吉弘氏(S35卒) 神戸大学名誉教授	86
「経済、就労が成立する実験 (フィリピン)の火山灰地(深さ7M)の貧困農村での実践 約13年間の挑戦、失敗、修正、今後の見通し～	森田 剛氏(S50卒) MONOPORT TRADERS INC GOLDEN OPPORTUNITIES OVERFLOED FARM INC/GOOD FARM 運営総務 株式会社門倉商店、副社長	89
「から今も続く町の学問所・心学明誠舎」 民の底力と経済力の源泉～	中尾 敦子氏(S36卒) 京都大学教育学部非常勤講師 (社)心学明誠舎副理事長 吹田市生涯学習推進市民委員会委員長	84
「KaSp I の活動」	吉川 一雄氏(S37卒) 小川 信夫氏(S37卒) NPO関西宇宙イニシアティブ	87
「トルギー～メタンハイドレート～」	安橋 興二郎氏(S34卒) 金蘭会会長、元大阪ガス勤務	100
「環境と温暖化、そして省エネ」	内藤 正巳氏(S40卒) 元松下電器産業株式会社(現パナソニック社)勤務 環境カウンセラー	未

1. 使用対象者
金蘭会会員
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者

2. 使用可能日時
火、木、土曜日
午前11時～午後4時
午後5時～午後8時

3. 申込について
①事務局に申込み。

TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124

- 使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。

4. 使用料金

	午前11時～ 午後4時	午後5時～ 午後8時
会議室 (30名～50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名～30名)	3,000円	5,000円

5. その他
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。

〈事務局からのお知らせ〉

金蘭会館へお車でのご来館はご遠慮いただいております。
特別に事情がある場合は、事前に金蘭会事務局にご連絡ください。学校と相談してお返事いたします。

第13期皆勤賞

子 S16本卒	村田 千世子 S29卒
子 S21高専卒	長田 澄代 S30卒
江 S23本卒	中道 昇 S32卒
次 S25卒	五十嵐 祥晃 S34卒
子 S26卒	大鍛治 和美 S46卒
子 S29卒	田中 文 S50卒
美 S29卒	福味 真樹紅 S62卒
子 S29卒	

第15期金蘭会セミナーへのお誘い

- とき 毎月第3金曜日
PM 6:00～7:00 卓話
PM 7:00～8:00 交流会
- ところ 金蘭会ホール
〈通信費〉年間1,000円(年10回 往復はがき代)
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円(軽食費込み)
- 申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。参加費1,000円は当日いただきます。(同伴・ピジターは1,500円)

予告 第14回セミナー 9月17日(金)

テーマ: 『古代中国、紅山文化の魅力』

講師: 中川 寿郎氏 元大手前高等学校教諭

インタビュアー: 小林 一則氏(S50卒)

読売新聞大阪本社総務経理局部長



金蘭会組織

会長	安橋 興二郎
副会長	米田 玲子
	上川 庄二郎
会計	田原 由夫
	平松 美樹
書記	大鍛治 和美
	福味 真樹紅
総務	留井 恵子
	安積 香代子
	田中 文
	渥美 寿雄
監事	横幕 久治
	勝部 慶次
	貫井 昌博

【委員会(理事)】

	委員長	委員			
組織	田中宏幸	・木村 定 ・丹羽 権平 ・高橋 仁志			
	広報	大鍛治和美	・石川 温子 ・渥美 寿雄 ・横幕 久治 ・藤井 浩一		
		IT	藤原啓助	・小田 純子 ・留井 恵子 ・小南 典子 ・藤井 浩一 ・河井 一晃	
会員名簿			石川 温子	・鴨下 勝子 ・田原 由夫 ・野口 幸一	
	金蘭会文庫		渥美寿雄	・木村 定 ・小田 純子 ・平松 美樹	
			運営	留井恵子	・島崎優文子 ・田原 由夫 ・藤井 浩一
行事				安積香代子	・徳光 清子 ・上川庄二郎 ・山口 高弘 ・安積香代子 ・田中 文 ・野口 幸一 ・平松 美樹 ・石出 将也
	分団	香田翠		・石川 温子 ・福味真樹紅	
		母校支援		升谷 博	・小田 純子 ・大川 香里 ・石出 将也
					・升谷 博 ・鴨下 勝子 ・明賀 英樹 ・田中 文 ・平松 美樹 ・田中由樹子
				・高橋 仁志 ・田原 由夫 ・大鍛治和美 ・横幕 久治 ・石出 将也	

金蘭会ホー

金蘭会パソコンスクール

パソコンは初めて 基礎から習いたい
テーマは各人のペースで自由に選択

ワード
エクセル

インターネット
メール

写真編集加工

ホーム
ページ



トラブル
処理など

日時: 月・金曜日 13時~17時
場所: 金蘭会館 2階ホール
費用: 1時間当り(2時間)500円

- ◆ 同窓生のお助けバースンガマンツーマンでお手伝い
- ◆ だから和やかな雰囲気 安心して学べます
- ◆ 3時に楽しいティータイム、年に2回パーティも
- ◆ 年賀状 暑中見舞い 写真アルバム 名刺 用箋など
- ◆ 案内状 住所録 会計報告書など

お問合せと
お申込みは

山口 Tel / Fax 06 (6854) 1090
金蘭会ホームページ <https://kinran.jp/school/>

同好会

ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	俳句ゼミ	フォークダンスサークル
内容	身近な法律問題について具体的な事例を3問取り組めます。また、関連する問題についても検討されるので役に立ちます。アットホームな雰囲気です。適宜弁護士さんの解説があり、質問も自由なので助かります。年1回の刑事事件の法廷傍聴も楽しみです。	俳句の基礎知識を学びながら、四季の移り変わりや、日常の暮らしの中での様々な感情を俳句に詠む楽しさを味わいます。句会や吟行に参加して作句力を養います。初めての方のご参加、大歓迎です。ゼミ当日にご持参いただくものは筆記用具、ノート、テキスト本、歳時記、小型辞書。参加希望者は下記連絡先にご返信ください。	平成13年(2001年)1月より始めましたが、さわやかな笑顔をかわしながらユーモアあふれるご指導を受けて今日まで続いています。ジョイントパーティに参加したり、来日中の諸外国のフォークダンスを楽しむ会等があり、初心者の方でもすぐに踊ることが出来ます。
講師	弁護士 田中宏幸氏(S49卒)	池田泰子氏(S29卒)	インストラクター 太田哲子氏(S27卒)
日時	今年は2月、4月、5月、6月、9月、10月の6回 原則第3金曜日の午後3時~5時(忘年会)12月	3/19(金)-5/21(金)-7/18(金) 9/17(金)-11/19(金) 午後1時半~午後4時 (5月21日は、11:30~14:30) (9月17日は、15:00~16:30)	毎月 第2・4火曜日 午後1時~3時(8月休み)
費用	年会費 5,000円 (夫費、お菓子代、忘年会費込み)	年会費 5,000円 開催日にご持参ください。全5回の会場費、資料代、用紙代等々として。	入会金 1,000円 レッスン料(1回)700円
お問い合わせ	大塚 徳子氏(S26卒) TEL 072-229-1557	講師 池田泰子氏(S29卒) TEL/FAX: 0745-45-1720 幹事 留井恵子氏(S39卒) FAX: 06-6383-8020	石坂千恵子氏(S32卒) TEL 06-6934-1073 栗原英美子氏(S40卒) TEL 06-6933-8981

岩田 和歌
鳥崎 俊文
中西 由
松岡 弘
福渡 澄
岩嶋 邦
朝比奈 眉
池田 泰

各委員会より

▼IT委員会.....

IT委員会は、一般事業として、金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」の運営と、特別事業として、パソコンスクールの運営（金蘭会館で開催）を担当しています。

IT委員会では、お助けパースンやホームページのアップ作業などのボランティアを募集しています。ご協力をお願い致します。

ホームページ

情報公開の場として、重要であることから、新たに「理事会議事録等」を理事会等が開催される都度、掲載するにしました。また、要望のありました「金蘭会館利用状況（カレンダー）」も掲載していますので、利用して下さい。各ページの内容も最新のものに更新しました。なお一層、ホームページの充実に努めていきます。

パソコンスクール

本年度も開催可能な月・金曜日午後一時～五時に年間合計七十日程度の開講を予定しています。出席随時の教室で、受講生の皆さんはそれぞれのテーマを楽しく学んでおられ、仕事や子育てを終えられた後に全くの初歩から始められた方が多いのも特徴です。お助けパースンは現在十四名、互いに日程を調整しながら夫々の持ち味でお手伝いしています。

（IT委員会委員長 S28卒 藤原 啓助）

▼組織委員会.....

昨年の「大手前だより」で、同窓会活動の活性化により会員の皆様の親睦をより深めて頂くため、左記の案を理事会に提案しておりますことをご報告致しました。

記

- 一、異業種交流会開催
- 二、学年同窓会開催サポート制度創設
- 三、京阪支部設立

この内、学年同窓会開催サポート制度が、理事会において可決されましたので、ご報告致します。

「学年同窓会開催サポート」の詳しい内容は、金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」(<http://kinran.jp>)の中の「同窓会開催情報」のページに記載されていますので、大いに活用下さい。

（組織委員会委員長 S49卒 田中 宏幸）

▼行事委員会.....

新入会員歓迎会

九月六日（日）金蘭会ホールに於いて、平成二十一年卒の新入会員百四名の出席のもと、歓迎会を開催しました。

美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新入会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会で、参加して下さった十五名の先生方や同窓生との会話が弾んでいました。



今後の同窓会活動への理解と参加につながると思います。

（行事委員会委員長 S40卒 安積 香代子）

なお、歓迎会のアルバムを見るためには、次のURLにアクセスして下さい。

<http://kinran.jp/shinkan/passwordealbum.html>
パスワード shinkan

平成二十二年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成二十二年九月五日（日）

十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム

詳細は、往復はがきにてご案内します。奮ってご参加ください。

◎メールでの申し込み締め切り

八月二十六日（木）

金蘭会ホームページから申し込みます。

▼名簿委員会

会員の皆様には平素からご協力いただき有難うございます。名簿委員会の主な活動は、正確かつ最新のデータの管理ですが、これは出来るだけ多くの会員に「大手前だより」をお届けするという目的のためでもあります。

ご存知のように金蘭会はきたる平成23年に120周年をむかえますが、その記念事業の一つとして会員名簿の刊行が予定されています。毎年この欄に書かせていただいていることですが、ご住所・勤務先・電話番号その他に変更がありました場合は、速やかに金蘭会事務局名簿委員会までご一報くださるようお願い致します。新しい会員名簿の内容を充実したものにするためにも、また会員間の繋がりを再確認するためにも是非学年会・クラス会・クラブOB会・支部会等々を積極的に開催していただき、その折に判明した最新の消息を名簿委員会にご提供くださるよう併せてお願い致します。

（名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子）

国際グリム賞

第12回国際グリム賞は神宮輝夫・青山学院大学名誉教授に贈呈されました。神宮教授は、児童文学の研究・創作・翻訳において、傑出した日本の児童文学者であり、国内外の児童文学

授賞式では、(財)大阪国際児童文学館館長である向川幹雄氏からの挨拶に続き、金蘭会会長(財)金蘭会理事長 安橋典二郎氏より、正賞の楯および副賞としての賞金百万円が、神宮教授に授与されました。続いて、大阪府教育委員会を代表し、太田浩二地域教育振興課長からお祝いの言葉が述べられ、最後に、神宮教授による受賞の言葉をもちきり、授賞式は終了しました。



「Story Telling」は、日本語では「童話」と訳されています。戦後の日本児童文学は、日本を代表する童話の書き手である小川未明を批判することから始まったと言われていますが、本講演では、小川未明の作品を中心に童話を再評価し、日本児童文学史を組み立て直す必要性を示唆するものでした。一六六名が参加し、講演の後には活発な質疑応答の時間がありました。

同時に、児童文学作品の解説、紹介、多数の重要な児童文学作品の翻訳を通して、広く児童文学を普及してこられました。また、長年におたつて、大学、大学院での児童文学研究指導を行つてこられ、一九七〇年度国際アンデルセン賞選考委員を務めるなど、児童文学普及のため、国際的にも活躍されています。

また、これまでに日本児童文学者協会賞(九六四)、児童福祉文化賞(二九六八)、社団法人日本児童文芸家協会・児童文化功労賞(二〇〇八)等を受賞されました。

「楽園」を多く語っているのは、「Fairy tale」であると思われ、創作的な「Fairy tale」である



授賞式に続いて行われた記念講演は、「楽園の回復をめざして——日本児童文学を中心に——」と題して、「童話」という言葉をキーワードにさまざまな児童文学作品について言及されました。児童文学で「楽園」を多く語っているのは、「Fairy tale」であると思われ、創作的な「Fairy tale」である

(国際グリム賞担当理事 S 30卒 多田 嘉孝)

学年会だより

十七美会 ご報告

(昭和十七年卒)

十七美会とは昭和十七年三月に本科を卒業した者たちの会です。年に一回集まりを持ち、お互いの親交を深め合ってきました。今年五月二十七日に大阪平野町のガスビル8階食堂で開催しました。出席者は十一名でした。

実は昨年からのこの会の存続について意見が出ていました。私達は八十五歳の高齢になり出席したい気持はあっても思うにまかせないのが現状です。自分の健康上の問題や家族の介護のため外出できない等の理由で欠席せざるを得ない方たちがたくさんおられます。今後の状況は好転するとは考えられず、集まりを企画しても



出席者の増加は見込めそうもありません。それで「十七美会」の集まりは今回を最後として、発展的解消することに決まりました。非常に残念ではあります。が、いたし方ありません。お互い健康に気をつけて個人的な交流を続けていきたいものと願っています。

毎年の集まりがなくなると会員の情報が得られなくなるのが残念です。今後転居その他の一身上の変動があった場合は金蘭会まで是非ご一報くださるようお願い申し上げます。

清水 満智子

あおぎり会

(昭和十九年卒)

・平成二十一年八月二十八日、晴天に恵まれ、昭和十九年卒業の私達は、スイスホテル南海大阪に集いました。

五月に予定した会が、新型インフルエンザのため中止となり、二度目の案内状でした。遠方からも出席して下さり、二十七名が顔を合わせた途端に、学生時代にタイムスリップして、話はずみみしました。戦争中の当時の事、その後、現在の事等々。

始めに記念撮影をし、フランス料理をいただくながら、途中安西さんのお知り合いの方のヴァイオリンの演奏で、「すみれの花咲く頃」等、私達になじみの曲に、いやされなごみました。すつかり年令を忘れ、楽しい時を過ごしたことでした。

来年の幹事さんも決まり、又元気でお会いしましょうと、三時頃散会となりました。

高田 嶺子

・鯉のぼりが五月晴れの空に、ゆらゆらと泳ぐ平成二十二年五月十三日、年振りの、あおぎり会に出席致し、ホテルグランヴィア大阪二十階、鳳凰の間にて約三十六名のお友達と昼食を共に致し、おしゃべりに花を咲かせました。遠方からお越しになられた方もいらつしやう、楽しい時を過ごし、女学生時代にタイムスリップした様で、久しぶりに大声でおしゃべりも出来、又笑い、八十四才にならんとする私たちが、年令など飛んでしまった様です。皆大声で校歌を歌って三時過ぎに終わり、名残はつきませんが解散。来年又、お会いしましょう！とお別れ致しました。来年度のお世話人になられた方へ、苦勞様と申したいです。たいした事は致して居りませんが、やはり気持が重く感じました。年を重ねると物事が何かにつけて大層になるのでしようか。今は、同窓会も無事に終わり、皆様とお目にかかれた喜びで、身心共に本当にほっとして居ります。

日に日に人生の終点も近くなつて参ります
が、自分を大切に、過ごして行きたいと思つて
居ります。

河瀬 延子

四期生学年会報告

昭和二十七年卒

昨年六月二十日、岸田、多賀、杉野の三名の
恩師をお迎えし、料亭「花外楼」で、喜寿祝
賀記念会を、七十名近くの出席を得て、盛大
に開催することが出来ました。

今年も六月二十四日、中津のラムザホテル
「花外楼大淀別邸」で開催し、お互いに元氣
な笑顔を見せ合つて、五十五年以上前にタイ
ムスリッパし、楽しい一刻を待てました。

平成二十四年は、卒業六十周年、昭和八年
生まれの方は、数え年で八十才を迎えられま
す。傘寿の祝を兼ねて、盛大に記念学年会を
持ちたいと思ひます。それに向かつて、上手に
年令を重ねる事に心掛け、お互いに残された
人生を楽しくゆこうではありませんか。

升谷 博

五期生学年会報告

昭和二十八年卒

五期生は学年会を毎年開催しています。
今年も五月二十九日に、杉野先生をお迎え
して、例年どおり「徐園」で開催し、ほぼ例
年通りの四十六名が参集しました。前回以
後の一年間で五名の死亡が分かり、物故者
の総数は六十四名になりました。私達全員、
後期高齢者の仲間に入りましたが、話題は
健康や病気のことに終始し、少々淋しい気が
しました。

来年は金蘭会創立百二十周年の記念事業
が十月に予定されていることでもあり、学年
会をどうするか詰つたところ、例年どおり、こ
の時期に開催することに決しました。従来、

関東地方の在住者もほぼ同じ時期に会を持
たれており、学年会への参加者が少ないこと
から、開催時期をずらしていただくようお願い
いたしました。

年一回の開催で、参加者の顔ぶれも固定化
していますが、これからも元氣であるかぎり
続けて集まろうということになり、来年の再
会を約して散会しました。

藤原 啓助

六期会学年会のお知らせ

昭和二十九年卒

昨年は、関東在住の皆さまに大変行き届い
たお世話になり、秋の箱根で開催しました。

十月十八日、小田原駅に集合して観光バス
で元箱根若ノ湖スカイライン、湖尻と巡り、晴
天の富士を眺望しつつ仙石原の「パレスホテル
箱根」に到着。遙か米国からの参加も含めて
参加者五十六名。会食と懇談会を開き、一同
近況を話し合いました。夜の二次会は飲みか
つ語り、遅くまで盛り上がり、後は豊富な温
泉で疲れをとり快い眠りに入りました。

翌日も快晴の中、ポーラ美術館、湿生花園
と巡り、昼食後は十国峠を経て小田原駅で
解散となりました。

今回は関西でということ、今年（平成二
十二年）は京都地区在住の方々で幹事を担当
して頂くことになりました。最初の奈良案は、
今年が平城遷都千三百年祭で奈良は混雑す
るといふ理由で京都に変更となりました。

開催日は十月三日（日）、会場は京都鴨川
河畔にある北京料理の「東華菜館」です。時
間は午後一時から、ランチと懇親会。宿泊は自
由ということ、気軽に参加して頂きます。

すでに学年の全員に概要をお知らせしてい
ますので、参加の意思表示をご連絡下さい。
久しくお会いしていない方々には、ぜひお一人
でも多くの参加をお願いします。

皆さまとの再会を楽しみにしております。
六期会学年会幹事一同

ランチパーティー

昭和三十三年卒

皆さん、お元氣ですか！
「素敵な七十代」を謳歌しておられることと
思います。

今年も楽しく、賑やかにおしゃべりしませ
んか。昭和三十三年卒業生H.P.上でもお知
らせましたが、今年も「ランチパーティー」
を企画しました。皆さん、お気軽にご参加く
ださい。幹事一同、お待ちいたしております。

記

日時：二〇二〇年（〇月）一四日（木）

午後十二時三〇分～一五時

場所：ホテルクランヴィア大阪二〇階

（JR大阪駅上）

会費：八〇〇〇円

往復はがきによる欠欠は八月上旬の
ご案内を予定しています。

幹事：榎本通男 宮本貴子
時間寛子 御池 宏

「大阪再発見」の旅

昭和三十四年卒

五月二十二日に五十一周年の会を綿業会
館（重要文化財）で開催しました。遠来の友
を含め、八十一名の出席でした。一方、三名の
ご冥福を祈らねばなりません。昨年は
卒業後五十周年、今年が古稀と、人生の大き
な節目を迎えました。大阪の中心から果立
ち、日本の各地または海外へと羽搏いた私た
ちでしたが、帰郷の念に浸ること頻りです。そ
こで今回は「大阪再発見」をテーマに企画し、
「近代大阪文化探訪コース」（「春琴抄」のモ
デルの旧小西邸、適塾、愛珠幼稚園など重要
文化財と他史跡訪問）と「綿業会館見学」を
懇親会前にオプションで実施しました。約五
十名が参加しました。一次会は綿業会館大
会議室、二次会は会員食堂で、ともに奇跡的
に戦火を免れた見事な建築に嘆賞しました。

食事中も「大阪検定」に基づくクイズを行
たり、五十周年を記念して母校に藤棚を寄
贈した報告がなされたりしました。お天気に
も恵まれ、充実の一日でした。

八組 森 道子

五十周年学年会に百三十七名が参加

昭和三十五年卒

「五十年振りの修学旅行へ行こう。」の呼
掛けに五月二十二日（土）各地から二期生
総勢百三十七名が京都に集まり、四条大宮
のアークホテルで記念の会を開催しました。

和気あいあいの宴会に賑やかな二次会、そ
してうち九七名は同ホテルや真向かいのヴィ
ラージュ京都等に宿泊。翌二十三日（日）はバス
に分乗し、梅尾・高山寺と高雄・神護寺へ。
この日は朝からの雨でしたが、静かな境内の
新緑はむしろ一段と冴え、昼食は稀に見る水
量の清滝川を眺めつつ、高雄観光ホテルで川
床料理を楽しみました。

往きは船中泊、帰りは車中泊だった高校時
代の北九州への修学旅行とは異なり、今回は
年輪相応にゆつくりペース。でもお喋りだけ
とにかたつぷり。懐かしさに加えて、様々な
新しい発見の場でもあったと思います。

そういえば学年会の最初は五年会が始ま
りでした。しばらく飛んで二十年会があり、
その時は本当に興奮したものです。基礎を固
めていただいたのはその頃の幹事さん達。それ
からは五年毎の学年会、間には旅行会、加え
て東京支部の活動もなかなか活発です。

毎回事務総局役一手引受の大間知さんに
感謝、そして記念大会を仕切っていた細川
さん桶田さんをはじめ担当幹事の皆さん、
本当にお見事でした。有難うございました。

山口 高弘



四十八年目の同窓会

(昭和三十七年卒)

今日は、三十七年卒業生の四十八年目の同窓会が、五月十五日(土)十二時〜十八時迄、大阪マルビル6階・一次会をモナークの間・二次会を横のマーキスの間で、開催されました。基本は大阪駅に近くて、安くて、長時間使用という、店舗にとつては非常に都合の悪い理念に基づいていました。何でも同期卒業の福田(上原)君が阪大の医学部でよく使用しているというところから、店側も承知せざるを得なかったようです。二次会は、マーキス1・2の二部屋で、1は談笑の間、2は懐かしの歌声喫茶でした。青春時代をすぐに呼び戻してくれるこの様な企画は初めての経験であり、感心しました。先生は岸田先生・杉野先生、生徒一〇〇名程・二次会八十名程で大盛況でした。最初は、えらい老けたなあ、若く見えるなあと思う人もいましたが、少ししゃべっていると、すぐに昔に戻り五十年近い年月を忘れてしまいました。二年後に五十年会をするのですが、四十八年会をしたのも前回の同窓会で、五年後では死ぬ人も出てくるから早めようということで行いました。案の定不幸なことに二名が亡くなり、欠席者の葉書でも糖尿病のため目が自由・歩行困難等の報、身につまされます。勿論カイロ在住の人をはじめ現役バリバリで活躍している人も。次回からは評議員と同窓会の幹事を統一しようということ、岸(旧姓・益尾)幸子さん中心に決まりました。今回見えなかった人も、五十年会は大きな節目です。是非参加して下さい。

十河 政彦

四十五年の時を超えて

(昭和三十九年卒)

昭和三十九年卒学年会は、二〇〇九年十月二十四日・二十五日 箕面観光ホテルにて開催しました。宿泊は二回目、岡山、東京、名古屋、そしてはるかスィスからの参加もあり、六十名が一党に会し時の経つのも忘れ、歓談の花を咲かせました。中には、四十五年ぶりに懐かしいお顔を見せてくださった方もあり、高校時代の思い出が走馬燈のように駆け巡りました。翌日は箕面大滝まで爽やかな秋晴れの中、おしゃべりしながら散策を楽しみました。滝からの帰路には、川沿いの喫茶店に入り、またまたおしゃべり。特にスィスでの生活のお話は楽しく、本当に二日間よく語り合ったものです。今までは五年ごとだったのですが、「次回は来年に東京で」という声が上ががり、互いの健康を願い、再会を期して別れを告げました。

留井 恵子



学年同窓会

(昭和四十年卒)

去る四月十八日午後、J.R大阪駅のホテルグランヴィア大阪で学年同窓会が開催された。前回の「還暦記念同窓会」から三年ぶりで、約七〇名の参加があった。前回不参加だったメンバーも含め懐かしい顔ぶれに、開始前から思ひ出話が飛び交い、和やかなムードとなった。林二郎氏(九組)の司会で、冒頭、物故のメンバーに黙祷のあと、赤池敏宏氏(六組、東工大)から「再生医療の最近の話題と日中大学交流」というタイトルで、歯切れの良い名調子で大変興味深い話を、しかも氏の中国語の歌まで含めて楽しく語られた。その後会食となったが、ランダムに席を移動しながら三時間近くがあつたという間に過ぎていった。その後の二次会にも半数以上が参加し、一部は三次会までも繰り出して、あつたという間の半日が過ぎていった。これからはメンバーの計報が聞かれる歳ともなってきたが、参加者は皆元気で、各自の残った人生を楽しんでいくよう準備をしていただけに感謝しながら、次回開催まで元気で過ごしたいと思いを新たにしたい。

内藤 正巳(八組)



学年SNSお引っ越し

(昭和四十九年卒)

一昨年夏から本格的に動き出し、大盛況になっていた昭和四十九年卒のサイト(SNS)が、サービス提供会社の事業中止を受けて、

本年五月をもってサイト丸ごと他のサービス提供会社に引っ越ししました。

このサイトには、学年同窓生以外の人は入れない仕組みにしていますので、安心して高校当時の気分に戻ってネットホームな交流ができ、実に楽しい「会話」になっています。まるで毎日が三同窓会のような雰囲気があります。この記事を見られた学年同窓生の中で、まだ引っ越しの手続きをしていない方、新規に参加してみようと思われる方は、遠慮なく左記までお問い合わせ下さい。

田中 宏幸

TEL〇六―六六三〇―三〇〇五
FAX〇六―六六三〇―三〇一五

大盛況！参加者②〇〇名の 卒業三十周年学年同窓会

(昭和五十四年卒)

「十年前の二十周年の時時は二百名近くの参加者があつたけど、今回はどやらか。」という幹事団の心配とは裏腹に、今年三月二十一日(日)、ホテル京阪ユニバーサルタワーには、恩師十三名と同窓生八五名が集い、全体写真も二回に分けて撮影するほどの大盛況。十年ぶり、二十年ぶり、或いは三十年ぶりに再会する懐かしい恩師と友人。今年には多くの者がこの世に生まれ、半世紀を迎え、顔も姿も若い頃と比べれば変わっているのは当然のことながら、会話し始めると、



ワープして大手前時代のアイツとオレに瞬間移動…。

また、同窓会に先立ち「〇次会」と称して、今年三月末に定年を迎えになられた今西先生の日本史の授業を四十五名が受講。懐かしい今西節を熱心に聞き入った。

今回は、できるだけ多くの同窓生に参加してもらうため、幹事団十八名で会合を七回重ね、十年間放置していた住所録を徹底的に整備するとともに企画にアイデアを出し合った。できるだけメルアドを収集しEメールを活用。学年のHPやブログを立ち上げて情報の提供と交換に努めた。また、前回同様、「近況報告集」を作成し、多くの同窓生と恩師から熱いメッセージをいただいた。

最後になりましたが、お忙しい中、遠方からも私達のために駆けつけていただいた、佐野・平口・藤田・中川・今西・高岡・岡田・荒井・庭野・森・渡辺・島・岩鼻の十三名の先生方、本当に有り難うございました。

同窓生の皆さん、次回の三十五周年までお元気で！

卒業三十周年学年会

（昭和五十六年卒）

卒業して三十年、学年会を開催します。

日時 二〇一〇年十一月二十一日(日)

一次会 十一時三十分～十四時
二次会 十四時三十分～十六時三十分
場所 シティプラザ大阪

中央区本町橋一三二

詳細につきましては、九月上旬に往復はがきでご案内致します。なお、情報は随時ブログ「金蘭会昭和二十七年～三十八年生まれ学年会」(http://geocities.yahoo.co.jp/sg/kinran_s37_s38)に掲載していきますので、そちらをご覧ください。連絡やお問い合わせは左記までお願いいたします。

Tel 〇九〇―三六六―八五〇六

Eメール h-yokomaku@muh.biglobe.ne.jp

学年代表評議員 横幕 久治

卒業二十周年、初の学年会

（平成二年卒）

平成二十二年十二月二十九日 ホテル モントレラ・スールにて同窓会を行いました。

卒業二十周年、初の学年会ということでも、年末の忙しい時期にも関わらず百五十人の同窓生と

九人の先生方に参加頂きました。懐かしい旧友たちは二十年という時を感じさせず、先生方の壮絶なスピーチは笑いあり涙な

く圧巻でした。私たちは十六クラスという当時前例のない巨大学年で、担当の先生方は大変な苦勞をされたとお話は印象的でした。十六クラスもあれば、在校中に知り合う仲間も限られています。大手前という繋がりがあられる限り、まだまだ新たな友人が増えていくのではないのでしょうか。

今回は都合がつかなかった皆さん、流行りの新型インフルエンザで欠席せざるを得なかった皆さん、本当に残念でした。HPに同窓会と校庭への記念植樹の様子掲載しています。楽しんで頂けたら幸いです。

<http://otemae1990jku.com/>

同窓会幹事 一同



支部この一年

阪神支部

阪神支部は創立三十周年を迎えました。又、今年から支部長が米田玲子氏から升谷博氏に交替しました。幹事のメンバーが一層賑やかに、一同和気藹々と運営に当たっています。

四月十二日(日)宝塚ホテルに於いて記念の総会を開催しました。祝賀の催しは多田満氏(S37卒)雅号正満氏をお招きして剣舞を舞って頂きました。多田正満氏は大日本正義流三代目宗主として多才な活躍をしておられます。

祝舞「松竹梅」に始まり、剣舞「川中島」、正満氏息女の正千世さん(袴姿が段とりりしく美しい方でした)の「佳實好主」、最後は北原白秋の詩による「からまつ」。静かな吟詠と舞はこの詩が詠まれたという軽井沢の四季が眼前に浮かび上がるようでした。いずれの舞も格調高く、又「鞭声肅肅：」「からまつ」の林をすぎて、「など親しみやすく懐かしい文学と芸能の世界に引き込まれていきました。このあとホテル自慢のフランス料理とおしゃべりを楽しみ、足立勝先生(S29卒)の指導で校歌を熱唱致しました。母校への感謝と友愛の思いを確かめ合ってお開きとなりました。

阪神支部は支部会費無料、卒業生どなたにも参加して楽しんで頂ける企画を考えています。

運営に参加して頂ける方、総会案内状を希望される方は「一報下さい」。

(阪神支部連絡先) S25卒 宮本 千代子

升谷 博 TEL/FAX 078-413-6647
真辺 和子 TEL/FAX 0798-51-0017

東京支部

新規会員募集

東京支部は現在会員数二六三六名です。最も大きな活動は毎年開催される総会、懇親会です。昨年も幹事(S53卒)の皆さんの工夫と心尽くしに満ちた素敵なお集まり、安橋金蘭会会長、原田校長先生のご来賓、一八一名の方の参加のもと七月に如水会館で開催されました。S53年中村扶美さんの歌う「水都二〇〇九、MIO」や欧米のスタンダードナンバーに酔いしれ、友との語らいと美味しい食事には、時は瞬く間に過ぎ「また来年」を誓い合いました。H20、21年に大手前を卒業されたフレッシュな若者達が参加してくれた事も世代を越えた同窓生の皆さんにとつて大変嬉しい出来事でした。(写真)

86回目となります今年ハイアットリージェンシー東京にて七月十八日(日)に開催されます。S54年卒の皆さんが準備を進めてくださっています。皆様どうぞお楽しみに！東京支部では名古屋以東、北海道まで在住される方の会員登録をお待ちしています。関東の大学に進学あるいは就職された卒業生の皆様、ぜひ一度東京支部のホームページをのぞいてみてください。



<http://www4.airnet.ne.jp/kinran/>

佐藤

南海支部

懇親会

南海支部の本年度の懇親会は、五月二十三日(日)に母校近くの見晴らし抜群の

「リバーサイド大阪」(八軒家浜)において開催されました。

懇親会には、母校から原田哲次校長先生、金蘭会本部から安橋興二郎会長を始めとして、大先輩から若手の会員まで幅広くご参加いただきました。

今回の講演は、プロのチアリーダー石原由美子氏(日6卒)による「元氣力」プロのチアリーダーから学ぶ元氣になる方法」というテーマで、講演及びかわいいうちびっ子による演技があり、会場が一体となって元氣をいただきました。

元氣をもらった後の会食は、和氣あいいでした。会食の後は、恒例のテーブル対抗「面白クイズ」で、皆さん頭の体操。豪華な商品を手にしてほっくり。

非日常の楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。

法廷傍聴会

六月二十五日(金)に、大阪地方裁判所において、恒例の法廷傍聴会が開催されました。昨年五月から実施されている裁判員制度もあつて、皆さん真剣に刑事裁判を傍聴されていました。

南海支部ニュースの発行

今年度で第10号になる南海支部ニュースは、昨年に引き続きカラー版で、さらに一層充実した内容になります。今後とも努力いたします。

支部入会受付中

南海支部では、金蘭会々員の方なら、居住場所にかかわらず皆さんご参加いただけるよう門戸を開放しております。ご関心がおありの方は、事務局までお問い合わせ下さい。

(南海支部事務局)

〒556-0011

大阪市浪速区難波中3-5-4

難波末沢ビル3階

田中宏幸法律事務所内

支部長 S 49卒 田中 宏幸

TEL 06-6630-3005

FAX 06-6630-3015

近鉄支部

金蘭会近鉄支部では、毎年秋に主として奈良で総会を開催しております。昨年の総会は十一月一日に奈良奥山に古くからある月日亭で開催され、講演は沢の鶴株式会社総社氏代行の西向賞雄氏にお願いして「日本の楽しみ方」という演題で、日本酒についての興味深いお話を聴かせていただきました。

今年度は奈良で遷都千三百年祭の行事が平城宮跡をメイン会場として、四月二十四日から十一月七日まで開催されており、総会に参加された方は、帰路是非とも会場へ行かれることをお勧めします。

総会は、十月十七日(日)に近鉄奈良線のあやめ池駅前にある料亭「あやめ館」で開催の予定で、千三百年祭の会場へのシャトルバスの出ている西大寺駅へは一駅のところにあります。

当日の講演は、大阪城及び秀吉の研究では第一人者であり、NHKの「そのとき歴史が動いた」に秀吉の解説などで出演されておられ、一九九二年から二〇〇〇年まで大阪城天守閣館長を、現在も名誉館長の渡辺先生にお願いしておりますのでご期待下さい。

現在、会員構成は主として近鉄沿線の方ですが、特に制限は設けていません。また、一回限りの参加も歓迎で、その場合には支部宛にご連絡下さいれば案内状を差し上げます。

〒631-0024

奈良市百楽園二丁目五番十一号

支部長 S 30卒 高橋 仁志

TEL/FAX 0742-451-5973

京都支部

京都支部では総会・懇親会を年一回、京都や滋賀の名利・名園等を選んで、春または秋の土・日曜に開催しています。昨年は、六月二十二日(日)に京都円山公園内「長楽館」において百名に近い参加者を得て開催しました。

事前の予想より参加者が多く、皆様には大変ご不便をおかけしました。お詫びいたします。今年には秋に開催する予定ですが、日時、場所ともまだ決まっておりません。決まり次第ご案内いたします。

当支部は年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出下さい。

〒644-1836

八幡市男山美桜二一六

支部長 S 28卒 藤原 啓助

阪急支部

阪急支部のこの一年
①夏の総会(九月五日)
アトラクションは昭和十九年卒の昆美也さんのお孫さんと東京芸大の学生さんでもある大西香奈さんのハープ演奏でした。優雅な演奏にうっとりした後の演奏者との談笑も楽しいものでした。ハープの構造、音階の作り方など教わりました。(六十名参加)

②お楽しみバス旅行(十月十七日)
備前路へ。閑谷学校は国宝の講堂と楮の紅葉がお目当て。日生で瀬戸内の味覚を味わい、備前焼の陶芸作品も鑑賞しました。(三十七名参加)

③新年会(二月八日)
若き津軽三味線奏者彌月(みつぎ)大治さん・西村孝樹さんをお招きしました。三味線のデュエットを二本棒と言うそうですが、津軽じょんがら節などダイナミック演奏に会場の皆様も興奮。

④「阪急支部だより」を創刊しました。
支部の活動や会員のエッセイ、写真作品、支部内の文学散歩など。見て、読んで楽しいものに。会員の皆様、特に若い会員の皆様に阪急支部の活動をアピールしたい、という思いで創刊しました。

S 37卒 奥本 登

金蘭会ホームページにアクセスを!

「WEB金蘭会」 <http://kinran.jp>

「今日のPhoto」「金蘭会ここ人」にあり」「大手前の今・昔」など多彩なメニュー!

「SPRING」1号から最新号までをUP!

着メロに校歌もダウンロードできます!



会員からのお便り

☆桐蹴会

(サッカー部OB会)

第八回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ

「念願の天然芝(堺ナショナルトレーニング)でのOB戦を実施！」

平素は桐蹴会の運営に対し、ご理解、ご支援を賜り感謝いたしております。

昨年十一月十五日(日)、母校グラウンドにおいて第七回OB戦を行いました。晴天の下、十代の現役選手から七十歳のOBまで約百名が参加し、サッカーを楽しみました。旧顧問の尾上顕夫先生も参加していただき、大いに盛り上がりました。

夕刻より金蘭会ホールにて総会を開き、事業・決算報告をするとともに、現役チームにトレーニング用のミニハードルとミニコーンを贈呈しました。親睦会には、現顧問の荒井充先生、旧顧問の村田要二郎先生も駆けつけていただき、世代を超えた交流がなされました。



【写真は親睦会の様子】

さて、今年度の第八回総会・OB戦・親睦会は、十月三十一日(日)、堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター(天然芝フィールド)で開催します。ワールドカップイヤーに天然芝でOB戦を実施するのは桐蹴会創設以来の夢でした。八月下旬に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されますことを願っております。

桐蹴会のブログ(「蹴る蹴るボール」<http://otemae-futsalclub.com/blog/>)にも掲載しますのでアクセスしてみてください。

また、月例の練習会も、五月で第三十回目を迎えました。毎回、十代から七十代まで、およそ二十〜三十人が参加され、それぞれ自分のペースで楽しんでいます。基本的には電子メールでご案内していますが、右記のブログでも確認できます。奮ってご参加ください。

なお、今年度(平成二十二年十一月から平成二十二年十月)の会費(三千元)をまだ納入されていない方は、是非とも納入して下さいませうお願いします。できましたら、賛助金(二千元、何円でも可)も併せてお願いします。(振込口座は、ゆうちょ銀行口座番号009201245834、桐蹴会)となっております。

昨年は大手前高校サッカー部が創設されて六十年目を迎えました。今後とも、後輩たちの支援と桐蹴会の発展のため、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

※ご自身ならびにご同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。
〒五五五〇八七四
吹田市古江台五三三三三三〇八

TEL&FAX 〇六一六八三三一九八七
メールアドレス hoguri@otemae-fc.jp
野口 幸一(S54卒)

☆「吹奏楽部 設立四十周年記念演奏会のお知らせ」

本校吹奏楽部は一九七〇年に同好会として発足し、今年で設立四〇周年を迎えました。この節目となる年を記念して、OB会主催による演奏会を開催する運びとなりました。現役生の演奏に加え、この演奏会のために全国各地から集まった五〇名以上のOB・OGによる演奏、さらに合同ステージでは二〇〇名を超えるメンバーでの迫力ある演奏をお送りいたします。懐かしの名曲やポップスなど、吹奏楽に親しみのない方でもお楽しみいただける

る曲目をご用意しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひ足をお運びいただき、晩秋のひとときを吹奏楽の響きとともに過ごしてください。

日時：平成二十二年十一月十四日(日)
午後一時開場、一時半開演
場所：守口市市民会館 さつきホール
(地下鉄谷町線守口駅下車すぐ)

※入場無料
吹奏楽部OB会ホームページ
<http://otemae-ob.pocorit.jp/>
お問い合わせ
concert2010@otemae-ob.pocorit.jp



☆バレーボール部 OB・OG会

しばらく開催していなかったバレーボール部OB・OG会が、昨年十一月二十一日(土)に堂島ホテルにて電話での声かけだけで約六十名の参加があり、盛大に開催されました。

今年も開催をという声に押されて、下記のとおり、開催する予定です。今回は幅広くご案内させていただいたため、名簿の整備・拡充にも取り組むたいと思っております。そこで、昨年電話連絡がなかったというOB・OGの方は、下記の世界係まで二報いただければ、九月初旬頃にはご案内させていただきますので、宜しくお願い致します。

日時 平成二十二年十月二十四日(日) 昼頃から
場所 ガーディングテイククラブ大阪
(TEL: 06-6343-7770)

大阪市北区梅田2-5-25
ハピネスOSAKA 6階

(世話係)
木野 豪 (S31卒)
TEL: 090-1079-8571
吉田 康一 (S37卒)
TEL: FAX: 072-851-1894
長野 隆司 (S38卒)
TEL: FAX: 0742-611-9228
田中 宏幸 (S49卒)
TEL: 06-6630-3005
FAX: 06-6630-3015
田中 宏幸 (S49卒)

編集後記

来年、金蘭会も百二十周年を迎えます。十月に記念式典・祝賀会が開催されますので、今からご予定ください。

母校への記念品は、金蘭会館のエレベーター設置となりました。その経緯は一面に掲載しておりますので、お読みください。その時同時に、式典・祝賀会の日程と場所もご確認ください。

実行委員長はじめ、担当者一同、皆様と共に祝っていただけけるよう努力しておりますので、紙面を通じてその思いをくみ取っていただき、よろしくご支援頂きますようお願い申し上げます。

(大)